

MW向け日本ワインセミナー、試飲会及び交流会のご案内

国税庁 酒類業振興・輸出促進室
株式会社テー・オー・ダブリュー（事務局）

2026年3月23日（月）から27日（金）にかけて、マスター・オブ・ワイン（以下「MW」といいます。）30名が日本ワインの生産地視察のため来日いたします。期間初日には、大橋健一MWによる日本ワインセミナーを開催し、その後、各ワイナリーの国際的な認知度向上、さらなる国際競争力向上及び販路拡大を目的として、MWとの試飲講評会及び交流会を実施いたします。

つきましては、上記試飲講評会及び交流会への参加を希望されるワイナリーを募集いたします。ご参加を希望される場合は、2月22日（日）までにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

なお、参加希望が多数となった場合にはMW協会側と協議の上で参加ワイナリーを選出させていただきます。恐縮ではございますが、ご希望に添えない場合もございますこと、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

■日時 : 2026年3月23日（月）
14時00分～15時30分 日本ワインセミナー（主催：国税庁）
16時00分～18時00分 試飲講評会（主催：国税庁）
18時30分～21時00分 交流会（主催：事務局）
※時間は前後する場合がございます。

■会場 : THE UPPER
（東京都千代田区丸の内1丁目3-4 丸の内テラス 10F）

■概要 : 【日本ワインセミナー】
来日する30名のMWを対象とした日本ワインの紹介セミナー
講師：大橋健一MW
使用言語：英語（通訳はございません）
※参加ワイナリーの皆さまもご聴講いただけます。

【試飲講評会】
参加ワイナリーごとにブースを設け、MWが巡回し試飲します。
使用言語：英語（通訳は各ワイナリーでご手配ください）
※参加ワイナリーには、ワイナリー情報及び各銘柄の詳細なテクニカルシートを英語でご提出いただきます。
※テクニカルシートに沿って、当日MWが銘柄ごとにコメントいたします。
当日は口頭によりコメントを受けることができますが、後日、MWのコメントを記載したテクニカルシートもお渡しいたします。

【交流会】
立食ビュッフェスタイル
参加費：20,000円/名

■試飲銘柄

【試飲会】

1社当たり最大2銘柄、1銘柄あたり1,800ml以上をご提供いただく予定です。

※参加ワイナリー数に応じて、調整をさせていただきます。

【交流会】

参加ワイナリー数に応じて、各ワイナリーにご提供をお願いするワインの数量が変動する場合がございます。

- ・定員30社（1社あたり2名までご参加いただけます）。
- ・MW30名のプロフィールについては別紙名簿を参照ください。
- ・MWには各試飲銘柄にコメントをして頂きますので、それを後日お渡し致します。
- ・MWより受け取ったコメント等は、今後のプロモーションにご活用いただけます（期限なし、無償）。

■お申込み方法

下記フォーム／右記QRコードよりお願い致します。

<https://forms.gle/EsC39Hos4uo1ryiU7>



* 応募期限：2026年2月22日（日）23時59分

* 申込条件：日本ワインの製造者であること。

後日アンケートにご協力いただけること。

試飲講評会で使用するワインをご持参いただくこと。

申込多数の場合には参加希望に添えないことについて了承していること。

■参加者の決定

2月27日（金）までにメールでご連絡します。

《*マスター・オブ・ワインとは》



THE INSTITUTE OF
MASTERS of WINE

マスター・オブ・ワイン（MW）は英国に拠点を置くマスター・オブ・ワイン協会が認定する、ワイン業界においてもっとも名声の高い資格となります。

同協会は既に60年以上の歴史を誇り、現在世界中には約340名のマスター・オブ・ワインが誕生しています。彼らはワイン生産者、ワイン流通関係者、ソムリエ、ワイン・ジャーナリスト、ワイン・ライター等、実に多種多様な職種から構成されています。そして、マスター・オブ・ワインになるということは、世界中における最高のワイン・コミュニティの中に帰属することを意味しています。

この資格は全部で3つのパートに分かれており、実技（36種類のワイン・テイスティング）、学科（14種類の学科論文）、そして研究調査課題提出（業界貢献を果たし得る最大10,000語の卒業論文）で構成されています。前者2つのパートを両方ともに最長でも6年以内に突破しなければ合格パートは白紙に戻され、向こう3年間の受験資格を失います。それら2つのパートの合格者が最終研究調査課題提出に臨み、それが受理されれば晴れて合格に至るという、ワイン業界で最も難易度の高い資格として知られています。

この資格の合格者は晴れて自分の名前の後ろに、国際的に商標権を有した、マスター・オブ・ワインを意味するアルファベット'MW'を付けることを許されます。

<https://www.mastersofwine.org/>

※30名のリストは別紙参照